

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州カシスの魅力発信・商品開発事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 日本の工芸と文化 (事務局：026-228-8633)
事業区分	その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用の拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,324,071円 (うち支援金：888,000円)

事業内容

NPO法人日本の工芸と文化(商品開発・全体コーディネート)、カシスの会(生産者グループ)、有志(販売促進など)が互いのスキルやネットワークを活かして、プロジェクト形式により事業を展開した。

- 信州産カシスの魅力発信
 - ・ 「カシス収穫祭」の開催(6月)
 - ・ カシス普及のために広報物の作成
パンフレット、のぼり旗、パネル
- 信州産カシスの商品開発
 - ・ 商品開発ワークショップ、試作 5回
 - ・ 開発商品の成分分析
 - ・ 試食会の開催(2月)



【商品開発ワークショップ】

【目標・ねらい】

- アントシアニンやビタミン類などの栄養素が多く含まれるカシスを一般に認知してもらう。
- 信州のさわやかなイメージとあった「信州カシス」の生産拡大と地域ブランド化を図る。

事業効果

- カシスの魅力が一般に認知されるとともに、カシス加工品の商品化が実現した。
- 開発商品を持って27年度は3回、商談会に参加した。カシスそのものについてはもとより、カシスジュース、ジャムについても参加者から大変興味を持ってもらい、取引開始への期待が高まった。なお、信州・長野県観光協会経由でNAGANO マルシェとの取引が決定したところである。
- 今後の商品販売が安定・拡大することで原料カシスの生産・出荷も安定的に見込まれ、リンゴなど主要果樹を補完し、かつ付加価値が高い品種して、長野市内や他地域にも生産する農家が増えていくと期待できる。
- 生産現場で障がい者の方々が多く楽しく働いている。

※自己評価【A】

【理由】

- 様々な主体との協働により、多くのアイデアが詰まった商品が生まれた。
- 商談での反応や引き合いもあり、本格的な販売を間近に整えることができた。

今後の取り組み

- 28年度はカシスジャムやジュースの商談やテスト販売を重ねるとともに、プロジェクトを継続して付加価値の高い商品を開発していく。
- 農商工の連携事業のモデルとなり、6次産業の一つとして新しい産業の創出につながる実感を得ている。